

箱出しの響く三味線 音に酔へ

けいこ
くによし
稽古座敷の 浮世國芳

令和三年十一月九日

大中臣正比呂



博多の那珂川に架かる住吉橋は、朱塗りの欄干である。その住吉には三味線屋があり、そこで買い求めた古い三味線箱は拙宅の座敷に鎮座している。

そこでお稽古をするのだが、座敷に飾った國芳の浮世絵には、旦那衆を

囲む花魁おいらんや酌婦かむろ、禿は居るのだが、何故か芸者が描かれていない。

仕方がないので、三味線方は私のお稽古曲としよう。